

# 特別支援学級のための 生活単元学習

—指導例と実践のヒント—



鳴門教育大学大学院  
岡 綾子



# 生活単元学習とは (川上,2024)

実際の生活課題や必要な生活スキルを取り上げ、計画-実施-反省までひとまとまりにして展開

## 「領域・教科を合わせた指導」のひとつの形態

- 「買い物学習」に金銭処理を含む算数・数学の内容を盛り込む。
- 「体育祭」に向けた単元に体育だけでなく、音楽（応援歌の練習）や図工（ポスターの制作）等の内容を含める。 等



合わせた指導により、各教科等の内容をより効果的に学習できる。

# 学習指導要領解説では

学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活で生かすことが難しい

現実度・必要度が高いテーマほど、学習活動は深まり、得られる学習の実感も手応えも増す

「生活単元学習は、**児童生徒が**生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、**一連の活動を組織的・体系的に経験する**ことによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。」

(各教科編 (小・中学校) p.32)

児童生徒の生活や関心、様子を探り取り、単元にする

# 何をすればいいのか？

## 学習内容の単元化

- ①生活上の目標  
達成
- ②課題解決
- ③一連の活動を  
組織的に経験する  
(学習指導要領)

## 学習活動の集団化

- 学級の実態把握
- ①学習の習得段階
  - ②学習上の共通  
課題
  - ③興味・関心
  - ④集団参加や対人  
関係 (川上,2024)

## 支援の個別化

個別の指導計画

# 生活単元学習に必要なこと

単元名は児童生徒が馴染みやすく、合言葉のように口に出せるものがいい

1 到達すべき「ゴール」がある。

2 学習内容に「ストーリー」がある。

3 児童生徒が組織的に取り組み、「活躍できる役割」がある。

4 児童生徒の「生活への繋がり」がある。

児童生徒の生活や関心、様子を把握した単元作成

# 特別支援学級ならではの留意点

- 全校に特別支援学級の活動が見えること。
- 生活単元学習の魅力を学校や地域に発信すること。
- 可能なら、生活単元学習の展開に通常学級や地域との関わりを設定すること。（例：ある遊びが校内で広がった。その遊びで学級対抗の大会を開くことにして単元を設定する）
- その学校ならではの生活単元学習の系統的な「学びの記録」をとり、活用する。



# 指導例Ⅰ サツマイモの収穫

児童生徒の  
めあてになる

<単元期間> 2週間

児童生徒が役割に  
十分に取り組める

<単元のめあて> サツマイモの収穫を祝う活動に意欲的に取り組む。

<主な活動> サツマイモを掘る。

分量を量り、袋詰めにする。

校内で宣伝し、販売する。

お芋チップ、お芋ケーキを作る。

関係者を招待してチップとケーキで  
収穫を喜ぶ会をする。



満足感・達成感を  
みんなで味わう

(太田・中坪,2020参照)

## 指導例2 防災デイキャンプをしよう

<単元期間> 2週間 まとまった期間に  
できるだけ毎日

<単元のめあて> 防災デイキャンプをやり遂げ、防災に関心を持つ。

<主な活動> 防災学習 地域の防災担当者の講話を聞く。地域との連携  
+本物の活動  
ポリ袋調理等の「サバイバル飯」づくり。

避難生活を想定した居住空間づくり。

デイキャンプ体験。通常学級を招待

防災ニュースの発行。通常学級を招待



(瀬戸,2020参照)



# 他には？

- ゲーム部品を制作してゲーム活動やゲーム大会をする。
- 空き教室に遊具を設置して「〇〇ランド」を企画運営する。  
(特別支援学級の児童生徒が得意なものがgood)
- 誕生日や卒業等の機会にプレゼントやメッセージを作成して受け渡しやパーティをする。
- 行事や生活のエピソードでかるたや双六、年表等を作る。
- 学校で利用できるものの制作と販売を行う「〇〇屋さん」。
- 季節のイベントをする。(由来の学習、校内掲示物作成と広報、調理やパーティ等)

# ゲーム的活動なら (高津・米田, 2024)

- みのまわりのことばかりた
- めくってミッション
- たまいれゲーム
- じんとりゲーム
- まとあてゲーム
- ブロックつみゲーム
- しらべよう！みんなのすきなもの
- ぐるぐるうたすごろく 等



\*複数の児童生徒が一度に参加でき、簡単なルールの繰り返しの  
中で見通しを持たせやすい。

\*個々の児童生徒の実態によりペア活動や役割分担を設定できる。

\*道具づくりからゲーム大会運営まで、幅広い活動を設定できる。

# まとめ

- 生活単元学習は、多種多様な展開が期待できる。
- 「何を目指すのか」「どんな教育的価値があるのか」を明確に。
- 児童生徒のニーズや主体的な取り組みを中心にした、生活感覚に沿う単元テーマが必要。
- 児童生徒が「めあて」「見通し」が持てる計画・活動を柔軟に展開する。

児童生徒の生活や関心を理解し、校内や地域の資源を生かして「楽しい」単元にできる学習である。

# 今回のお話は以上です。

## <引用・参考文献>

- 川上康則(2024) マンガでわかる はじめて特別支援学級の担任になったら 教師と子どもが成長する学級経営. 株式会社Gakken.
- 文部科学省(2018) 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部)
- 名古屋恒彦(2022) 「各教科等を合わせた指導」と教科の考え方 知的障害教育現場での疑問や懸念にこたえる. 教育出版.
- 中村大介(2020) 特集：生活単元学習と各教科等のつながり. 特別支援教育研究, 753, 2-6.
- 西岡ゆき子(2022) 解説：知的障害特別支援学級における生活単元学習の取組について. 特別支援教育研究, 778, 20-21.
- 太田俊己・中坪晃一(2020) 概論 今こそ子ども主体の生活単元学習を！—今日に満足し、明日を楽しみに待つ学校生活づくり—. 実践特別支援教育, 48(2), 10-13.
- 瀬戸麻利(2020) 南海トラフ地震に備え、みんなで協力してやり遂げた「本物の活動」. 実践特別支援教育, 48(2), 22-25.
- 高津梓・米田宏樹(2024) 特別支援教育サポートBOOKS 個別のねらいに合わせて評価ができる 全員参加のゲームでつくる特別支援教育の授業 特別支援学校小学部・小学校特別支援学級. 明治図書出版株式会社.
- 丹野哲也(2022) 特集：徹底解説!! 「生活単元学習」「作業学習」の本質と魅力. 特別支援教育研究, 778, 4-7.